allcinema

中国女（1967）

LA CHINOISE

メディア　映画
ジャンル　ドラマ
製作国　フランス
色彩　Color
時間　103分
初公開日　1969/05/30
公開情報　フィルム・アート
リバイバル　1998/08［ザニフィルムズ］

【解説】

毛沢東主義（マオイズム）に染まっていた頃のゴダール映画は相当に難解である。大人たちが夏のバカンスに出て留守の家に５人の若者－－女子大生ヴェロニク、画家キリロフ、経済学者アンリ、元売春婦イヴォンヌ、俳優ギョーム－－が集い、ディスカッションを繰り広げ、それぞれ熱烈なマオイストとなる。そして、思想を行動に移そうと、反動的な文化相の暗殺を企てるが……。修正主義者が出て仲間割れが起きたり、実際の革命をスケール・ダウンした“ごっこ”映画の感は免れ得ないが、それは作者の暗に意図した警告か。だいたい、その後の新左翼運動の実態はそんなふうだったのだ、という意味では先見的な作品。６７年ヴェネチア映画祭審査員特別賞受賞。

【クレジット】

監督	ジャン＝リュック・ゴダール	Jean-Luc Godard
製作	マグ・ボダール	Mag Bodard
脚本	ジャン＝リュック・ゴダール	Jean-Luc Godard
撮影	ラウール・クタール	Raoul Coutard
音楽	クロード・シャンヌ	
出演	アンヌ・ヴィアゼムスキー	Anne Wiazemsky
	ジャン＝ピエール・レオ	Jean-Pierre Leaud
	ジュリエット・ベルト	Juliet Berto
	フランシス・ジャンソン	
	ミシェル・セメニアコ	
	レクス・デ・ブロイン	

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.